

令和元年度の主要事業

- 百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録に向けた取り組み及び古墳保存整備事業 1億7,458万円
第43回ユネスコ世界遺産委員会パブリックビューイングの開催
多言語化案内看板の設置や史跡墓山古墳の一部公有化
- 学校施設長寿命化計画策定事業 2,372万円
小中学校施設の老朽化対策として、施設管理の中長期的な方向性を示す学校施設長寿命化計画の策定
- LIC ウェルネスゾーン及びはびきのウェルネス事業の展開 3,737万円
高齢者や中年層を対象とした介護予防・運動プログラムの実施
- 子ども子育て支援事業計画
はびきのこども夢プランの第2期計画策定 352万円
2020年度から5年間を計画期間とする第2期「こども夢プラン」の策定
- 歴史的建造物を活用した拠点整備と羽曳野版 DMO の設立 4,222万円
古市古墳群構成資産の「白鳥陵古墳」と日本遺産である竹内街道に隣接する「浅野家住宅(旧オキナ酒造)」の施設改修など
- (仮称)西部こども未来館の整備と3歳児保育の実施 4億7,966万円
幼保連携型認定こども園「(仮称)西部こども未来館」整備のための基本・実施設計など
駒ヶ谷幼稚園での3歳児保育の実施
- 市民プール整備事業 2億4,420万円
市民プールの整備に向けた基本計画の策定
はびきの殖生学園・駒ヶ谷小学校でのプール無料開放の実施
- 道路整備事業 2億1,283万円
都市計画道路恵我之荘駅前南側線の歩道整備、駅前南側広場の整備
市道恵我之荘69号線の整備に向けた用地取得の実施
- 市営住宅集約建替事業 3,277万円
市営向野住宅の集約建替に向けた基本・実施設計など
- 小中学校空調設備設置事業 4億8,972万円
小学校6校でのエアコン設置工事の実施



パブリックビューイングの様子



はびきのウェルネス事業



プール無料開放(駒ヶ谷小学校)

指標でみる羽曳野市の財政状況

【健全化判断比率】財政の健康状態を表す4つの比率

指標	羽曳野市	府内比較	⑤早期健全化基準	⑥財政再生基準
①実質赤字比率	赤字額なし	—	12.21%	20.00%
②連結実質赤字比率	赤字額なし	—	17.21%	30.00%
③実質公債費比率	5.9%	3.5%(※1)	25.0%	35.0%
④将来負担比率	12.3%	(※2)	350.0%	—

※数値が低い方が健全度が高くなります。

【資金不足比率】企業会計の経営状況の健全度をみる比率

対象会計	羽曳野市	⑦経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.0%
下水道事業会計	資金不足なし	
と畜場特別会計	資金不足なし	

- ①普通会計(一般会計+土地取得特別会計)の赤字額より財政の健全度をみる比率
- ②市の全会計の赤字額から財政の健全度をみる比率
- ③借入金返済額などの大きさから財政の健全度をみる比率
(※1) 政令市を除く大阪府内の都市平均は3.5%です。
- ④市の負債残高から将来の財政の健全度をみる比率
(※2) 政令市を除く大阪府内の41市町村中22市町村は0%以下です。(比較すると本市の健全度は高いとはいえません。)
- ⑤基準を上回ると、財政健全化計画を立て、自主的な改善努力が必要
※「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」の早期健全化基準は、自治体の財政規模により異なる
- ⑥基準を上回ると、財政再生計画を立て、国の関与を受け、確実な再生が必要
- ⑦基準を上回ると、経営健全化計画を定めなければならない



総務課
ウェブサイト
QRコード

問合せ 財政課 ☎ 072-958-1111 内線 3560

令和元年度各会計の決算が 第3回定例市議会で認定

一般会計決算 歳入 400億5,304万円
 歳出 396億9,268万円
 実質収支 3億5,733万円

一般会計の歳入総額は400億5,304万円、歳出総額は396億9,268万円、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は3億5,733万円となりました。

歳入では、地方交付税が5.9%、繰入金が増加するなど、全体で前年度比2.4%の増加となっています。歳出では、公債費は9.4%減少したものの、民生費が2.8%、総務費が9.8%増加し、全体で前年度比1.6%の増加となっています。

令和2年度以降は、社会保障費や公共施設の老朽化対策等への支出と併せて、新型コロナウイルス感染症に伴う歳入歳出面への影響もあることから、健全な財政運営を持続できるよう、今後も行財政改革の取り組みを進めてまいります。

会計別歳入歳出決算額

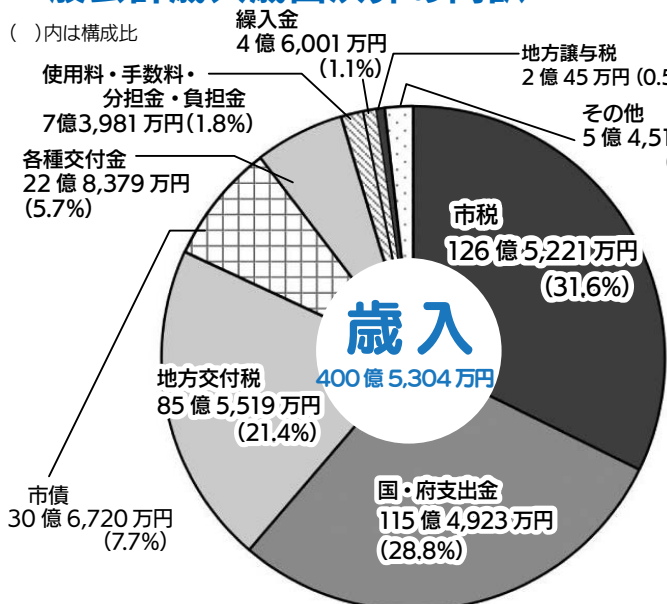
(千円・%)

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額	
	決算額	前年度比	決算額	前年度比		
一般会計	40,053,036	102.4	39,692,675	101.6	360,361	
特別会計	国民健康保険特別会計	12,884,931	100.3	12,731,380	99.7	153,551
	と畜場特別会計	55,378	87.1	55,378	87.1	0
	財産区特別会計	1,638,230	97.2	58,224	120.4	1,580,006
	介護保険特別会計	10,579,524	100.8	10,276,520	100.7	303,004
	土地取得特別会計	1,312,583	172.7	1,312,583	172.7	0
	後期高齢者医療特別会計	1,772,642	103.4	1,725,225	104.2	47,417

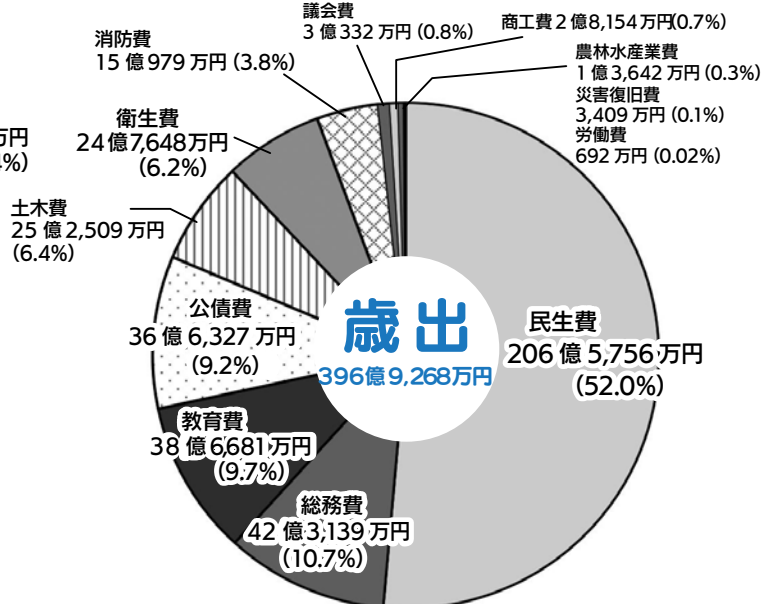
会計名	総収益		総費用		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,335,948	92.5	1,892,115	95.5	443,833
下水道事業会計	3,343,384	101.5	3,041,847	101.4	301,537

一般会計歳入歳出決算の内訳

※構成比については、端数処理の関係上、合計の数値が100%にならないことがあります。



市民1人当たりの市税負担額…11万4,249円



市民1人当たりの歳出決算額…35万8,425円

令和元年度 下水道事業の財政状況

(下水道事業会計
決算の概要)

●問合せ● 下水道総務課
☎ 072-958-1111 内線 2361

①収益的収支

～使用後の水を処理場へ送り、適切に処理するための費用と財源～

②資本的収支

～下水道施設の建設や改良のための経費と財源～

③汚水の処理に要した費用と財源

